

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2025 -1	2025/1/4	Update on the U.S. Navy's Littoral Combat Ship Mine Countermeasures Mission Package	【米LCS対潜MP関連】 米海軍沿海域戦闘艦の対機雷戦ミッションパッケージに関する最新情報	Naval News 2025/1/4	 米海軍のLCS用対機雷戦ミッションパッケージに関する最新情報です。10年以上にわたり苦勞に苦勞を重ねてやっと運用状態にこぎつけたようです。それでも実作戦海域で実用に供するかはこれから検証する必要があるようです。わが国でもFFMに類似した対機雷戦モジュールを装備しますが、こちらの実用性は検証されているのでしょうか。	佐々木司
2025 -2	2024/12/1	The Risk of Shipping Interconnectivity	【相互接続性関連】 海運のインターコネクティビティー(相互接続性)のリスク	Proceedings 2024/12/1	 3ページまでは空想上の話ですが、現実的に起こり得る脅威で、極めて示唆に富んだ読み物と思います。プロシーディングス誌2024年12月号から。	岩崎洋一
2025 -3	2024/12/13	US transform maintenance while the UK cuts its surface fleet	【米整備技術関連】 米国は整備を変革し、英国は水上艦隊を削減	Naval Technology 2024/12/13	 船体外板の検査ロボットの紹介(宣伝)記事です。詳細は不明ですが、自走して検査結果を3D表示してくれます。Gecko Robotics社のHP (https://www.geckorobotics.com)を観ると、プラント設備の外板検査をボットで行っており、これを米海軍艦船に適応したようです。iRobotのように外板清掃、検査、塗装まで賅ってくれればさらに良いと思われれます。	清水隆
2025 -4	2025/1/12	Can the U.S. Navy Buy Foreign Ships?	【米艦建造等関連】 米海軍は外国の艦船を購入できるか？	USNI News 2025/1/12	 USNIニュースSea Scrollの今週の話は、トランプ次期大統領が(意外ですが)米海軍の艦船建造には同盟国の支援が必要と言っているという話、V-22オスプレイの技術的不具合はなおも不透明という話、グアム・イージスの成功はイージス戦闘システムのますます進化する柔軟性を示しているという話、などです。	岩崎洋一
2025 -5	2024/12/11	F-35 Lightning II: Background and Issues for Congress	【米議会調査局報告】 F-35ライトニングII: その背景と議会への問題提起	Congressional Research Service 2024/12/11	議会調査局レポート「F-35: 背景と議会への問題提起」最新版(少し長いですが訳してみました)です。	岩崎洋一
2025 -6	2025/1/10	Delivery of F-35B Lightning II Fighters to Japan Delayed	【F-35B日本納期情報】 F-35Bの日本納入が遅延	USNI News 2025/1/14	 旧聞に属しますが、F-35Bの初度6機の納入が年度を超えて若干遅れるという記事です。「いずも」と「かが」の改造は、それぞれ2027年度、2028年度に完了するとも書かれています。海自と空自の運用構想に齟齬がなければいいのですが。(下線は訳者)	岩崎洋一
2025 -7	2025/1/14	White House: Next Two Aircraft Carriers Named for Bill Clinton, George W. Bush	【米艦名命名情報】 ホワイトハウスは次の2隻の空母に「ビル・クリントン」、「ジョージ・W・ブッシュ」と命名	USNI News 2025/1/11	 まだ契約もされていない将来の空母2隻に、バイデン政権が名前を付けました。4ページからの読者コメントが盛り上がっています。	岩崎洋一
2025 -8	2024/8/15	SAIC awarded US Navy \$120m tactical training wargaming contract	【その他】 SAICが米海軍と1億2,000万ドルの戦術訓練ウォーゲームを契約	Naval Technology 2024/8/15	ここに示されたウォーゲームの開発を契約した会社はSAIC (Science Applications International Corp)です。SAICは退役軍人が全従業員の3分の1を占めている会社で、ウォーゲームにおける訓練効果や実戦を模擬するために退役軍人は必要不可欠な役割を担っているものと思われれます。このような規模感の会社がもし我が国にも存在すれば、定年あるいは中途退職した自衛官の特技を継続・活用できる場となるかもしれません。	工藤悟
2025 -9	2024/12/24	Radio Frequency Directed Energy Weapon successfully demonstrated in the UK	【英ソフトキル手段開発動向】 無線周波数指向性エネルギー兵器が英国で実証に成功	NAVY LOOKOUT 2024/12/24	 英陸軍が開発中の対ドローン・ソフトキル兵器の記事です。特に、群制御され、大群となって押し寄せる小型ドローンへの対抗手段として構想されています。本装置は、艦船への親和性もあり、小型ドローンに対しては、砲銃よりも優れた対策になる可能性があります。艦船は、陸上部隊に比べ、これらの脅威は低いかもしれませんが、今後、脅威が増大していくことは間違いのないと思われれます。このため、自艦の電波兵器との干渉を避けつつ、艦載型のソフトキル手段の技術開発も十分に推進していくべきだと思います。	本山泰之
2025 -10	2025/1/14	T-AGOS 25 ocean surveillance ships to be known as Explorer-class	【米新型海洋監視艦】 T-AGOS 25海洋監視艦はエクスプローラー級	Naval News 2025/1/14	 米海軍のタイプシップ名は1番艦の名前とと思っていましたが、新型海洋監視艦艇T-AGOS25級は異なります。タイプ名はエクスプローラー(探検家)級で、1番艦はUSNSドン・ウォルシュ、2番艦はUSNSビクター・ベスコポだそうです。	清水隆

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2025 -11	2025/1/17	General Atomics Pitches Drone Launch System For US And Allied Warships	【米企業無人機射出装置】 ゼネラル・アトミックスは、米軍と同盟軍の軍艦にドローン発射システムを提案	Naval News 2025/1/17	 DDにも搭載可能なUAV用電磁カタパルトの搭載提案です。中国は電磁カタパルトを装備した強襲揚陸艦を進水させました。DDから発進は魅力的ですが、回収が難しいので、直ぐの採用はないのでしょうか。ただ、こんな装置を搭載した中国の艦艇が出てきそうな気がします。	川原梅三郎
2025 -12	2025/1/14	Canada ready to buy more American products to appease Trump's tariff threat, ambassador says	【加次期潜水艦動向】 カナダはトランプ氏の関税脅威を和らげるため、米国製品をさらに購入する用意があると大使が発言	AP通信ほか 2025/1/14	 昨年、次期潜水艦のRFIを取得したカナダですが、トランプ政権の発足に伴う関税発動を警戒して、駐米大使が米国から潜水艦を調達することも示唆したという報道です。多年に亘る検討で、一旦は通常型潜水艦の調達に絞られましたが、先行きが不透明になってきました。防衛所要よりも経済対策が優先されるのでしょうか？いずれにしても政権末期のトルドー政権では決定されないと思われます。	本山泰之
2025 -13	2025/1/1	The Risks of Decarbonized and Digitalized Shipping	【脱炭素化・デジタル化関連】 脱炭素化・デジタル化された船舶のリスク	Proceedings 2025/1/1	 前回は商船のインターコネクティビティ（相互接続性）のリスクについて紹介しましたが、今回の論説は、ここ最近急速に進化している商船の脱炭素化・デジタル化に対して、海軍作戦の観点から対策の必要性を論じています。船団護衛という作戦は現代では採用されないと思いますが、商船の運航が現状どうなっているのか、将来どうなっていくのかは把握しておく必要があると思料します。プロシーディングス誌1月号から。	岩崎洋一
2025 -14	2025/1/22	NEITHER FISH NOR FOWL: CHINA'S DEVELOPMENT OF A NUCLEAR BATTERY AIP SUBMARINE	【中国潜水艦技術動向】 魚でも鳥でもない：中国の原子力電池AIP潜水艦の開発	CIMSEC 2025/1/22	 昨年、武漢の武昌造船所で起こった建造中潜水艦の沈没事故に関して、沈没したとされる41型潜水艦について、2人の専門家が、全く新しい原子力電池AIP推進ではないかと推論しています。	岩崎洋一
2025 -15	2025/1/24	U.S. Marines, Japanese Forces to Drill in Southwestern Japan in Iron Fist Exercise	【日米共同訓練情報】 米海兵隊と自衛隊が日本の南西方面で「アイアン・フィスト」演習を実施予定	USNI News 2025/1/24	 2月19日から海兵隊と陸自が南西諸島でEABO訓練を始めるという記事です。	岩崎洋一